



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1082 2017 年 7 月 10 日

ARIBの動き

エルサルバドル 地デジセミナーに参加

エルサルバドルにおいて地デジセミナーが開催されました。

- 1 日程：2017 年 6 月 27 日（火）～28 日（水）
- 2 場所：エルサルバドル共和国サンサルバドル ホテルクラウンプラザ・サンサルバドル
- 3 出席者：

エルサルバドル電気通信監督庁（SIGET）はじめ同国政府関係者、国営放送（TVES）はじめ同国放送関係者等 100 名以上が参加。

日本からは田良原特命全権大使をはじめ在エルサルバドル日本国大使館、小川放送技術課技術企画官をはじめ総務省、菅原 DiBEG 議長をはじめ ARIB/DiBEG のメンバー企業・事務局の約 20 名が参加。

4 概要：

エルサルバドル共和国は本年 1 月に地上デジタル放送日本方式 (ISDB-T) の採用を表明し、ISDB-T の採用国は日本を含め 19 か国となっています。また、その後 3 月に同国で放送サービスを所管する電気通信監督庁（SIGET）のコト長官を総務省が招聘し ISDB-T について情報提供・意見交換を行うとともに、5 月には金子総務大臣政務官が同国を訪問し、セミナー開催を含む支援に関する覚書に署名しています。今般、当該覚書に基づき、同国において地デジセミナーが開催されることとなり、ARIB/DiBEG も講師の派遣等を行うこととしました。

セミナーでは、冒頭にコト長官より挨拶があり、遠く日本から大勢の専門家が訪れたことに対して謝意が表明されました。また、これに続いて SIGET のバジェ部長より同国における地デジの検討状況についてプレゼンがあり、6 月 1 日からマルチ編成・ワンセグを含む試験放送を開始したこと、現在は地デジ移行のマスタープランを検討中であり、早ければ 2018 年 1 月には本放送を開始したいと考えていること、地デジ移行に合わせて地上テレビ放送への新規参入を認めることも検討中であること等の説明がありました。

一方、日本からは、小川技術企画官より地デジ導入に関する日本の経験について説明を行ったほか、ARIB/DiBEG からは、菅原議長、メンバー企業の専門家（日立国際電気、NHK アイテック、ソニー、マスプロ電工）及び事務局より、ISDB-T の概要、送信設備、EWBS、スタジオ設備、受信設備、DiBEG の国際普及活動について説明を行いました。これに対して

出席者からは、他の採用国におけるマルチ編成の例や日本におけるワンセグの普及状況、EWBS 表示装置の価格等、本放送を意識した具体的な質問が数多く寄せられました。

また、セミナーに並行して、SIGET による試験放送の受信デモ及び DiBEG メンバー各社（講演を行った各社及び NEC）の展示も行われました。各社の展示ブースでは、設備導入に関する相談が数多くあったほか、平面室内アンテナ及び EWBS 表示装置のデモが注目を集めていました。



セミナーの様様



SIGET による試験放送の受信デモ



マスプロ電工の平面室内アンテナのデモ



NHK アイテックの EWBS 表示装置のデモ

周波数資源開発シンポジウムを開催

6月30日（金）、「ワイヤレス IoT への新たなアプローチ」をテーマにした「周波数資源開発シンポジウム 2017」が、一般社団法人電波産業会及び国立研究開発法人情報通信研究機構主催、総務省後援により、明治記念館 富士の間（港区元赤坂）において開催されました。

2020 年、そしてその先の未来社会に向けて、我が国は「新たな付加価値産業の創出」を ICT 成長戦略に掲げ、多種多様かつ膨大なデータをいち早く相互に結びつけることにより新たなビジネスや新市場を創出し、関連産業の国際競争力を高めるべく産学官一体で多くの取り組みを進めております。中でも、ワイヤレス技術は膨大な数の IoT デバイスを迅速に接続するための中核技術と位置付けられており、利用シーンに応じて適切な通信速度や柔軟性、信頼性を提供するため、従来にない電波の利用が予想されます。

本シンポジウムでは、5G 時代の IoT 社会におけるワイヤレス技術の新たな利活用の可能性を探るべく、産学官の専門家に講演頂きました。

まず初めに、国立研究開発法人情報通信研究機構の門脇直人理事が開会の挨拶を行い、総務省総合通信基盤局の渡辺克也電波部長から来賓挨拶をいただきました。総務省総合通信基盤局の田原康生電波政策課長から「最近の電波政策の動向について」の演題で基調講演をいただいた後、東京大学大学院の森川博之教授から「IoT が拓く新たなワイヤレス」、株式会社 NTT ドコモの谷直樹部長から「ワイヤレス IoT がもたらす付加価値と 5G 時代に向けた展望」、首都大学東京大学院の池井寧教授から「バーチャルリアリティ (VR) ×ワイヤレスがもたらす新体験」、駐日デンマーク王国大使館の中島健祐部門長から「高齢化社会を見据えたヘルスケア IoT の欧州動向とデンマークの取り組みについて」、国立研究開発法人情報通信研究機構の児島史秀室長から「IoT を支える無線システム高度利活用に関する取り組み」の演題で有意義なご講演をいただきました。

また、当日は小雨まじりの天候にもかかわらず約 250 名の方々にご来場いただき、盛況のうちに終了いたしました。



周波数資源開発シンポジウム 2017 の様子



国立研究開発法人
情報通信研究機構 理事
門脇 直人 様



総務省 総合通信基盤局
電波部長
渡辺 克也 様



総務省 総合通信基盤局
電波部 電波政策課長
田原 康生 様



東京大学大学院
教授
森川 博之 様



株式会社 NTT ドコモ
部長
谷 直樹 様



首都大学東京大学院
教授
池井 寧 様



駐日デンマーク王国大使館
部門長
中島 健祐 様



国立研究開発法人
情報通信研究機構 室長
児島 史秀 様

電波環境協議会 平成 29 年度総会を開催

7 月 4 日（火）、ARIB が事務局を務める 電波環境協議会（略称：EMCC）の平成 29 年度総会が、学識経験者、関係省庁、独立行政法人、企業団体等から計 54 名の出席のもと東海大学校友会館で開催されました。



電波環境協議会総会の様子

冒頭、上 芳夫 会長（電気通信大学名誉教授）から、不要電波による障害を防止し、除去するための対策について協議することを目的とし、昭和 62 年（1987 年）9 月に不要電波問題対策協議会として設立され、その後名称を変更しましたが、関係省庁、学識経験者及び、業界団体等のご支援もあり、今年で 31 年目を迎えることができたことに謝辞が述べられました。

昨年4月に「医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き」等を公表し、引き続き本年6月28日に、医療機関の方が手引きの内容をより実践的に活用できるよう、医療機関における「電波の安全利用規程（例）」等を取りまとめ報道発表したことが紹介されました。

その後、上会長が議長に就き、平成28年度の事業報告および収支決算報告、平成29年度の事業計画及び収支予算並びに役員選任について審議が行われ、いずれも議案どおり議決されました。特に、役員選任では、上先生は顧問となり、新たに、福地 一(首都大学東京名誉教授)先生が会長に就任されました。



前会長 上 芳夫 先生



会長 福地 一 先生

「第5世代モバイル推進フォーラム」平成29年度総会を開催

7月6日（木）、「第5世代モバイル推進フォーラム」（5GMF）の平成29年度総会が、明治記念館（港区元赤坂）において開催されました。



「第5世代モバイル推進フォーラム」平成29年度総会の様子

総会に先立ち、顧問会議が開催され、14人の顧問の方々に出席いただき、委員会活動報告等に対して活発な質疑応答が行われました。総会には、電気通信事業者・通信機器メーカー等75社、大学等研究機関、総務省等から合わせて205名の参加があり、冒頭、来賓として総務省 総合通信基盤局 渡辺克也電波部長からご挨拶がありました。

総会において、吉田会長の挨拶の後、平成28年度の事業報告及び収支決算、平成29年度の事業計画及び収支予算、規約の改定、役員の選任について審議が行われ、いずれも提案どおり議決されました。

また、総会に続いて懇親会があり、来賓としてあかま総務副大臣からご挨拶がありました。



会長
吉田 進 様



総務副大臣
あかま 二郎 様



総務省総合通信基盤局
電波部長
渡辺 克也 様

今週の ARIB 内会合（7月10日～7月14日）

- 7月10日（月） 電磁環境委員会 第37回書籍WG
- 7月11日（火） 規格会議 第8回電子タグ作業班
- 7月12日（水） 第241回業務委員会
- 7月13日（木） スタジオ設備開発部会 4K IF ANC データ規格化DG

今週の国際会合（7月10日～7月14日）

参加を予定している会合はありません。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp